

くじ

広報

300回の軌跡



広報くじは、2018年9月1日号の発行で節目の300号を迎えました。旧久慈市と旧山形村が合併し、新久慈市の誕生とともに2006年3月に創刊。約12年6カ月の期間、毎月休むことなく発行され、久慈市の今を綴ってきました。

広報くじの制作

皆さんに見ていただきたい広報くじは、取材・写真撮影・デザイン・レイアウト・文書作成など、印刷や一部の加工を除いて、市職員が手作りで制作しています。

完成した広報くじは、毎月1日、15日に約1万5千部を発行。市内の全世帯や各施設にお届けしています。

旬な情報をお届け

この12年を超える歳月の中、久慈市ではさまざまなニュースがありました。新久慈市の誕生。道の駅くじ・やませ土風館やしらかばの湯、海女センターなどのオープン。社会現象にもなったNHK連続テ

レビ小説「あまちゃん」の放送。甚大な被害をもたらした東日本大震災や平成28年台風10号。広報くじは、その時々々の旬の情報や市からのお知らせ、市民の活躍など、皆さんに知ってほしい情報をお届けしています。

主役は皆さん一人一人

広報くじの主役は市民の皆さん一人一人。皆さんの思いをなるべく多く、お届けすることを目指しています。内容やレイアウトなどについても、まだまだあまちゃんですが、たくさんの方の声を聞き、より良い広報紙としていきます。広報くじに対する皆さんのご意見・ご要望を遠慮なくお寄せ下さい。

合併を振り返る

今月の特集は、いまままでに発行された広報くじを読み返し、久慈市の歩み、そして合併を振り返ります。

旧久慈市、旧山形村それぞれの思いや合併後の変化について迫ります。